



# 令和7年度



## センキョ博士検定 解答と解説

問1 選挙権がある(=投票できる)人の年齢で正しいのは？	
A 16歳以上	C 20歳以上
B 18歳以上	D 25歳以上

(問1の答)
<b>B</b>

(5点)

**【解説】**

平成28年から、選挙権年齢が「満18歳以上」に引き下げられました。  
それまでは「満20歳以上」で、これは昭和20年からのことでしたので、70年ぶりの引き下げでした。  
世界的に見ると、18歳以上とする国が多いようです

問2 投票用紙の材質は？	
A 普通の紙	C プラスチック
B ビニール	D アルミニウム

(問2の答)
<b>C</b>

(5点)

**【解説】**

あまり知られていませんが、投票用紙はただの紙ではなく、プラスチックで作られている特殊な紙です。  
破れにくく、また、折りたたんでも自然に開く性質を持っています。

問3 大人と一緒に投票所に入ることができる子どもの年齢は？	
A 3歳未満	C 12歳未満
B 6歳未満	D 18歳未満

(問3の答)
<b>D</b>

(5点)

**【解説】**

平成28年から、投票所に同伴できる子どもが、「幼児」から「18歳未満」に拡大しました。

問4 投票所へ一番初めに来た人は、何が出来る？	
A 記念撮影をしてもらえる	C 一番乗りの証明書もらえる
B 投票箱の中が空っぽか確認できる	D 1枚余分に投票用紙がもらえる

(問4の答)
<b>B</b>

(5点)

**【解説】**

各投票所において一番初めに投票に来た人には、投票箱の中に何も入っていないことを確認してもらいます。  
これは「空虚確認(くうきょかくにん)」と言い、投票箱にすでに票が入っているというような不正を防ぐために行うものです。

問 5 投票の結果、同じ票数の人が2人いる場合、当選人はどうやって決める？	
A じゃんけんをする	C 話し合いで決める
B くじを引く	D もう一度選挙をする

(問 5 の答)  
**B**  
(10 点)

【解説】

投票の結果、同じ票数の候補者が2人いる場合は、くじを引いて当選人を決定します。

問 6 投票に行かないと罰則がある国は？	
A 日本	C オーストラリア
B アメリカ	D そんな国はない

(問 6 の答)  
**C**  
(10 点)

【解説】

日本やアメリカでは、投票に行かなくても特に罰則はありませんが、世界的には投票に行くことを義務として罰則を設けている国があります。

問 7 令和 8 年 1 月 25 日に福井県で行われる(行われた)選挙は？	
A 福井県知事選挙	C 参議院議員通常選挙
B 大野市長選挙	D 衆議院議員総選挙

(問 7 の答)  
**A**  
(10 点)

【解説】

令和8年3月1日現在において、それぞれの選挙が、一番最近行われた期日は次のとおりです。

福井県知事選挙・・・令和8年1月25日

大野市長選挙・・・令和4年6月12日

参議院議員通常選挙・・・令和7年7月20日

衆議院議員総選挙・・・令和8年2月8日

問 8 県知事選挙に立候補する場合、供託金(きょうたくきん)はいくら？	
A 3万円	C 300万円
B 30万円	D 3000万円

(問 8 の答)  
**C**  
(10 点)

※供託金・・・立候補にあたり預けるお金のことで、基準以上の数の票があれば選挙後に返してもらえますが、基準以上の数の票がないと没収されます

【解説】

供託金(きょうたくきん)は、選挙ごとに金額が決まっています。売名目的などで候補者がたくさんになりすぎないようにする制度です。

市長選挙・・・100万円(大野市の場合)

市議会議員選挙・・・30万円(大野市の場合)

県知事選挙・・・300万円

県議会議員選挙・・・60万円

衆議院議員選挙(小選挙区)・・・300万円

参議院議員選挙(選挙区)・・・300万円

～ 問 9 と問 10 は、保護者の方にインタビューして、聞き取った答を書いてください ～

問9 一番最近投票に行ったのは  
何の選挙でしたか？

(問9の答)

問題に対応した答えであれば○

問 10 誰に投票するか、  
どうやって決めますか？

(問 10 の答)

問題に対応した答えであれば○

**【解説】**

選挙においてどの候補者に投票するかは、投票する人の自由な意思によって行われます。